

平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
結果報告

令和元年8月26日（月）

むつ市教育委員会

小 6 国語で全国平均を上回る 中 3 英語で県平均を上回る

全国の小学校 6 年生及び中学校 3 年生を対象に、文部科学省が実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

調査の概要

調査日 平成 31 年 4 月 18 日（水）

調査学年

小学校 6 年生 市内 13 校 407 名

中学校 3 年生 市内 9 校 430 名

調査内容

1 教科に関する調査

小学校 6 年生 国語、算数

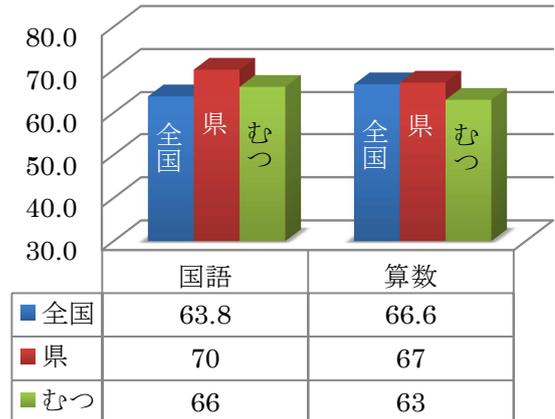
中学校 3 年生 国語、数学、英語

※今年度から、従来の A「知識」に関する問題と B「活用」に関する問題を一体的に構成することとなった。

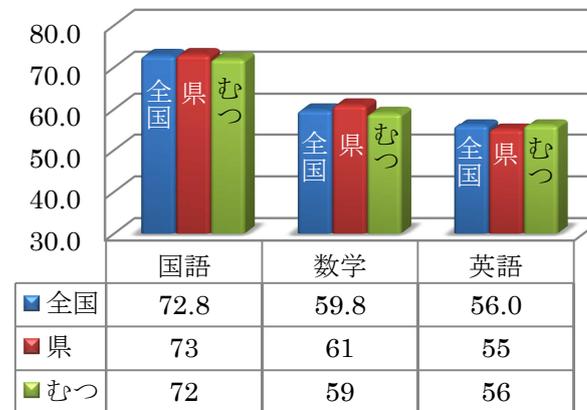
2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート調査）

調査の結果（全国平均正答率との比較）

小学校 6 年生（407 名）



中学校 3 年生（430 名）



教科に関する調査結果

◇小学校 6 年生

国語→全国平均を上回り、県平均を下回る。

算数→全国平均・県平均を下回る。

◇中学校 3 年生

国語・数学→全国平均とほぼ同値で、県平均を下回る。

英語→全国平均とほぼ同値で、県平均を上回る。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果

◇小学校 6 年生・中学校 3 年生共通

- ・ 毎朝同じくらいの時刻に起き、朝食を食べるなど、規則正しいリズムで生活している。
- ・ きまりを守り、いじめはいけないという思いを持ちながら学校生活を送っている。
- ・ 学級活動や道徳の時間では、話し合い活動に意欲的に取り組んでいる。
- ・ 読書が好きである。また、全国や県平均よりも新聞を読む児童生徒の割合が高い。
- ・ 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表することを苦手としている。

今後も、地域や家庭と共に、児童・生徒のさらなる成長に向けて、教育活動の充実に努めて参ります。調査の詳細は、むつ市ホームページをご覧ください。（担当 学校教育課 内線 3138）

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査について

学校教育課

1. 今年度の調査の概要

○実施日 平成31年4月18日(木)

○実施人数 小学校6年生：407名 中学校3年生：430名

2. 今年度の結果の概要と考察

○小学校

- ・国語…全国平均を上回り、県平均を下回る。
- ・算数…全国平均・県平均を下回る。

○中学校

- ・国語・数学…全国平均とほぼ同値で、県平均を下回る。
- ・英語…全国平均とほぼ同値で、県平均を上回る。

※詳しい数値はP1を参照。

今年度から、A問題、B問題を一体的に問う問題になった。また、報道等による順位競争の過熱化を防ぐため、2017年度から、都道府県・市町村の数値は整数値での発表となっている。

【考察】

- ・全体的な結果としては、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均、県平均と大きな差はないと言える。(正答率で比較すると、全国・県平均と-4～+1ポイントの差があるが、各教科の問題数が10～16問(英語のみ21問)と少ないため、問題数で比較すると、その差は1問に満たない。)しかし、その中で比較的差が大きく、課題となるのは小学校の算数である。全領域で全国・県平均を下回っていることから、知識・技能等と活用する力の両面を伸ばしていく授業改善が一層求められる。
- ・小・中学校ともにどの教科も選択式問題、記述式問題の正答率が低い。授業の中で、いろいろな考えに触れてじっくり考え、根拠を持って正しいかどうかを判断したり、自分の考えをわかりやすく書いたり説明したりする活動を一層充実させていく必要がある。
- ・本調査の目的は、児童生徒の実態を把握し、必要な指導を行うとともに、学習指導要領改訂の趣旨に沿った授業改善を進めることにある。今後の学校訪問等で、本調査の結果を生かした校内研修や研修の日常化が進むよう助言していく。

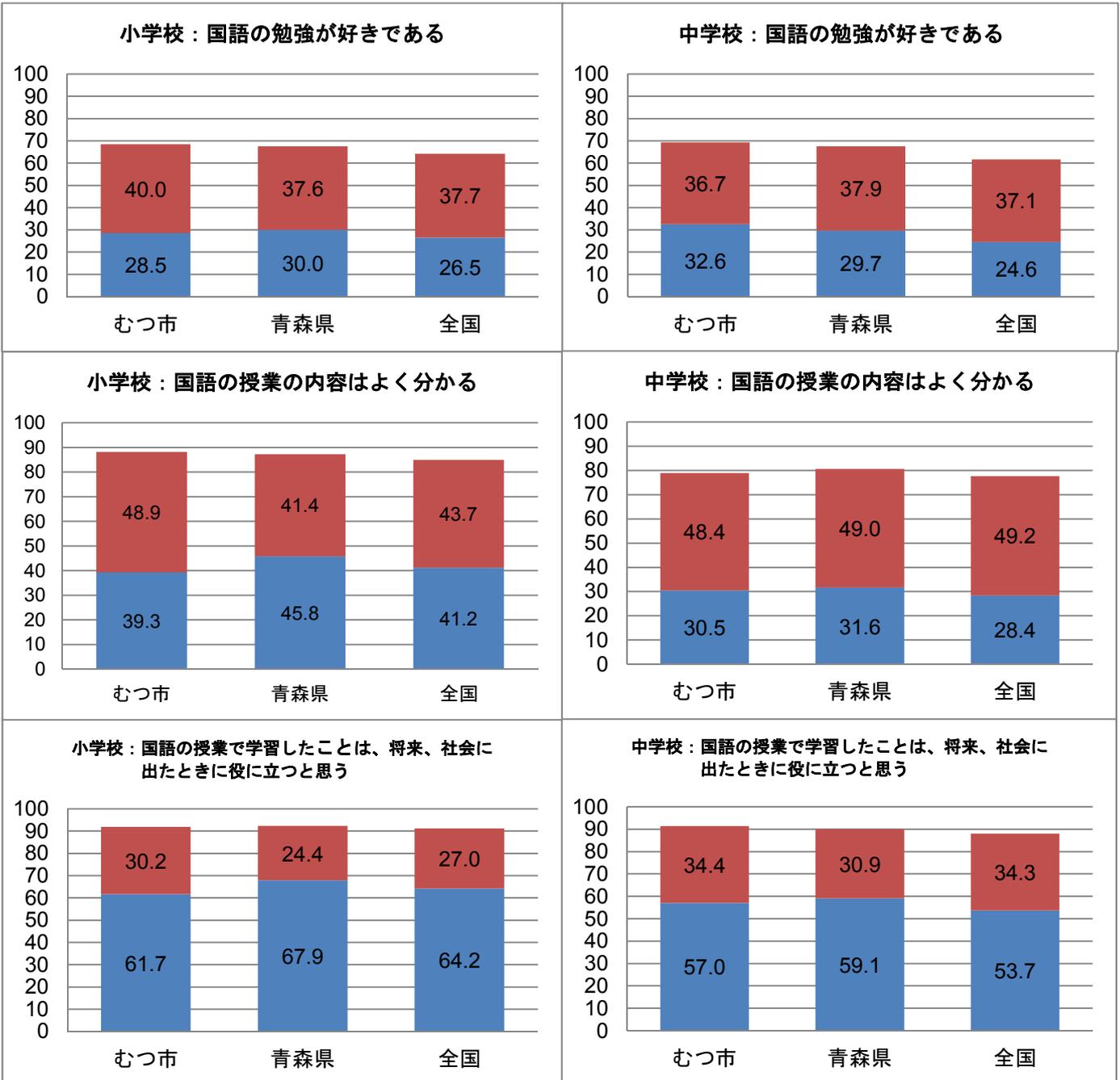
3. 質問紙調査の結果

1) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等

- ・国語、算数・数学、英語の勉強が好きで、授業の内容がよく分かると感じている児童・生徒の割合は、全国・県平均とほぼ同値である。教師の働きかけの工夫により、今後一層学習意欲を高めていくことが期待できる。
- ・授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている。

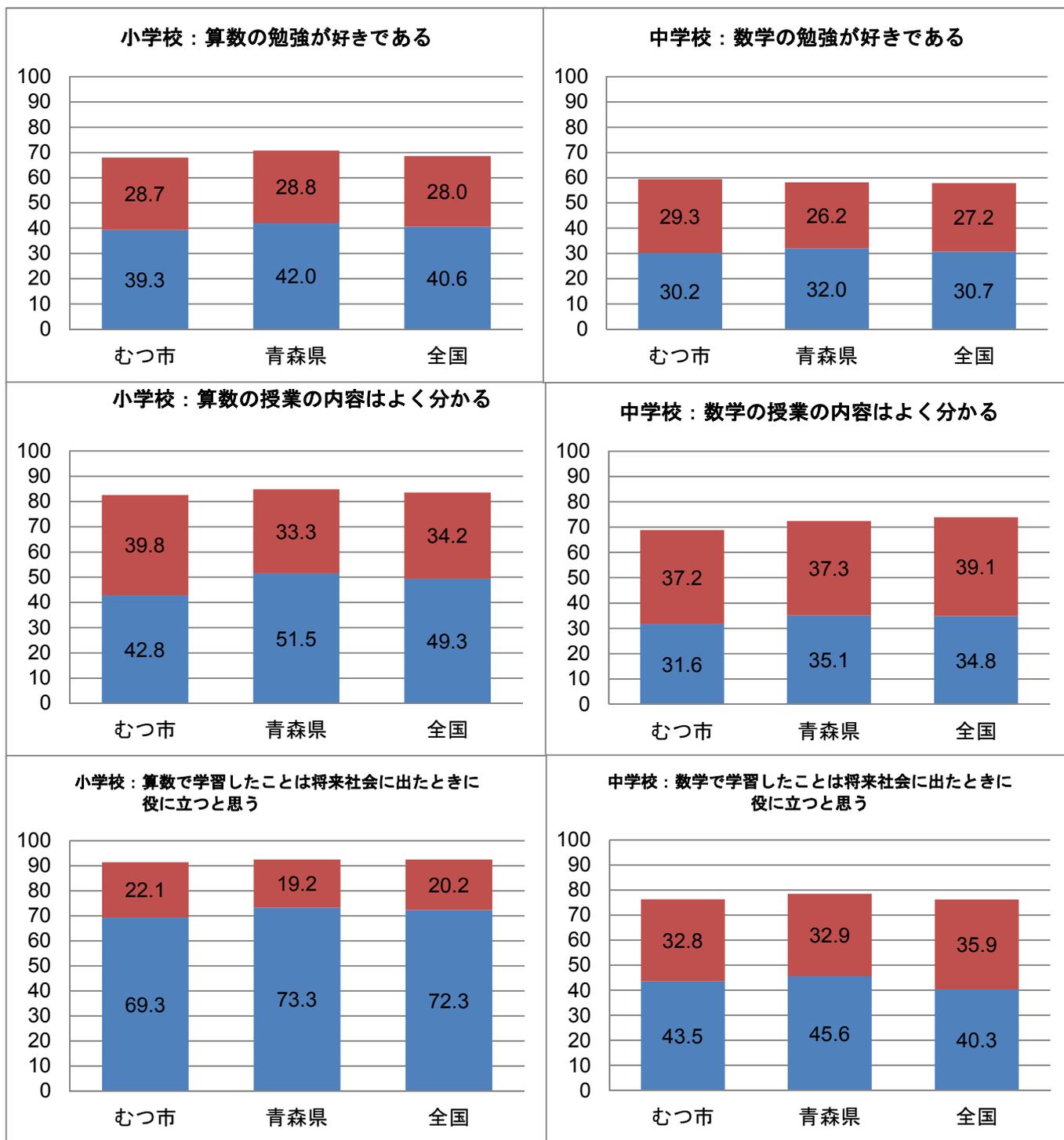
○国語

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる



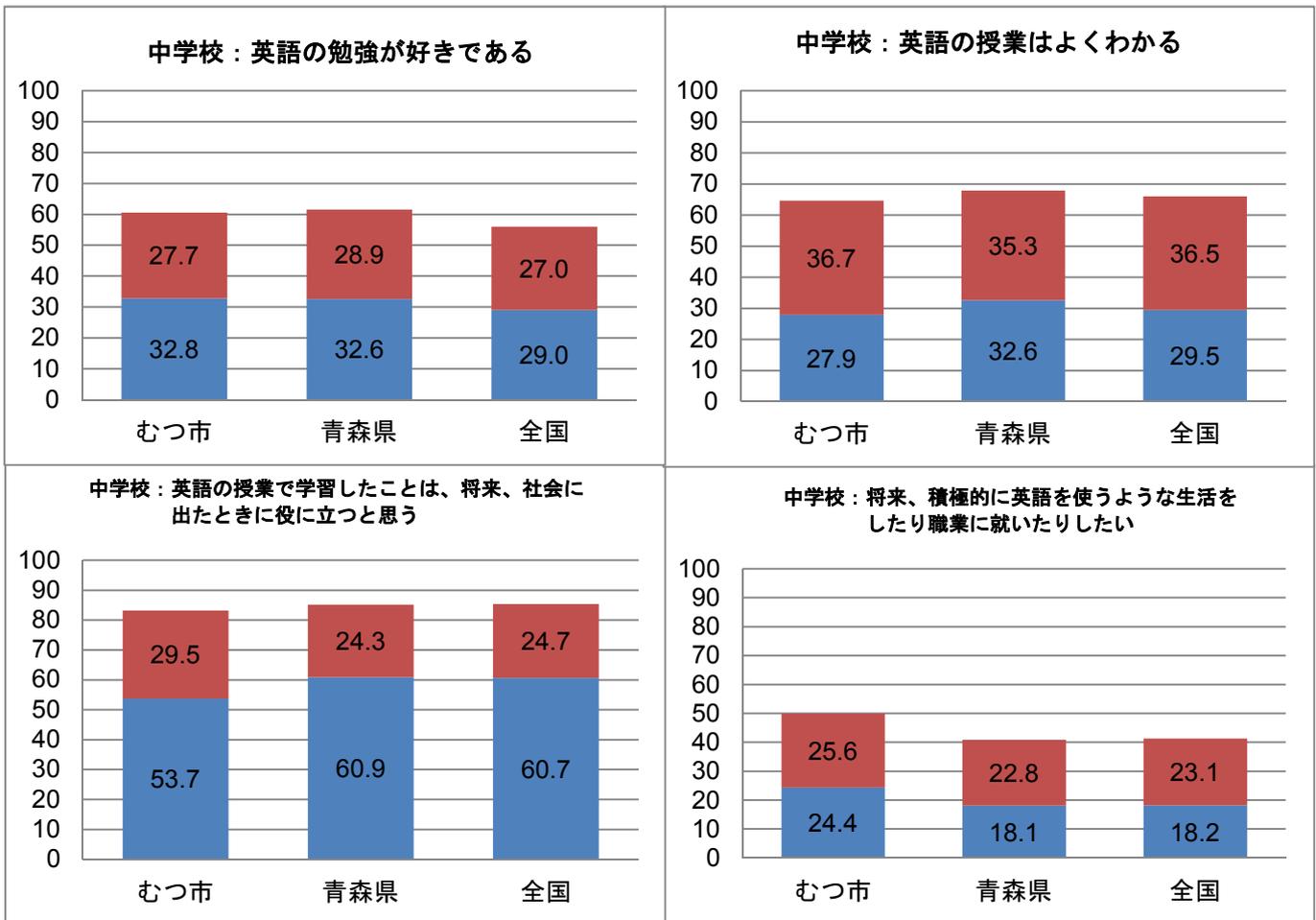
○算数・数学

■当てはまる ■だいたい当てはまる



○英語（中学校のみ回答）

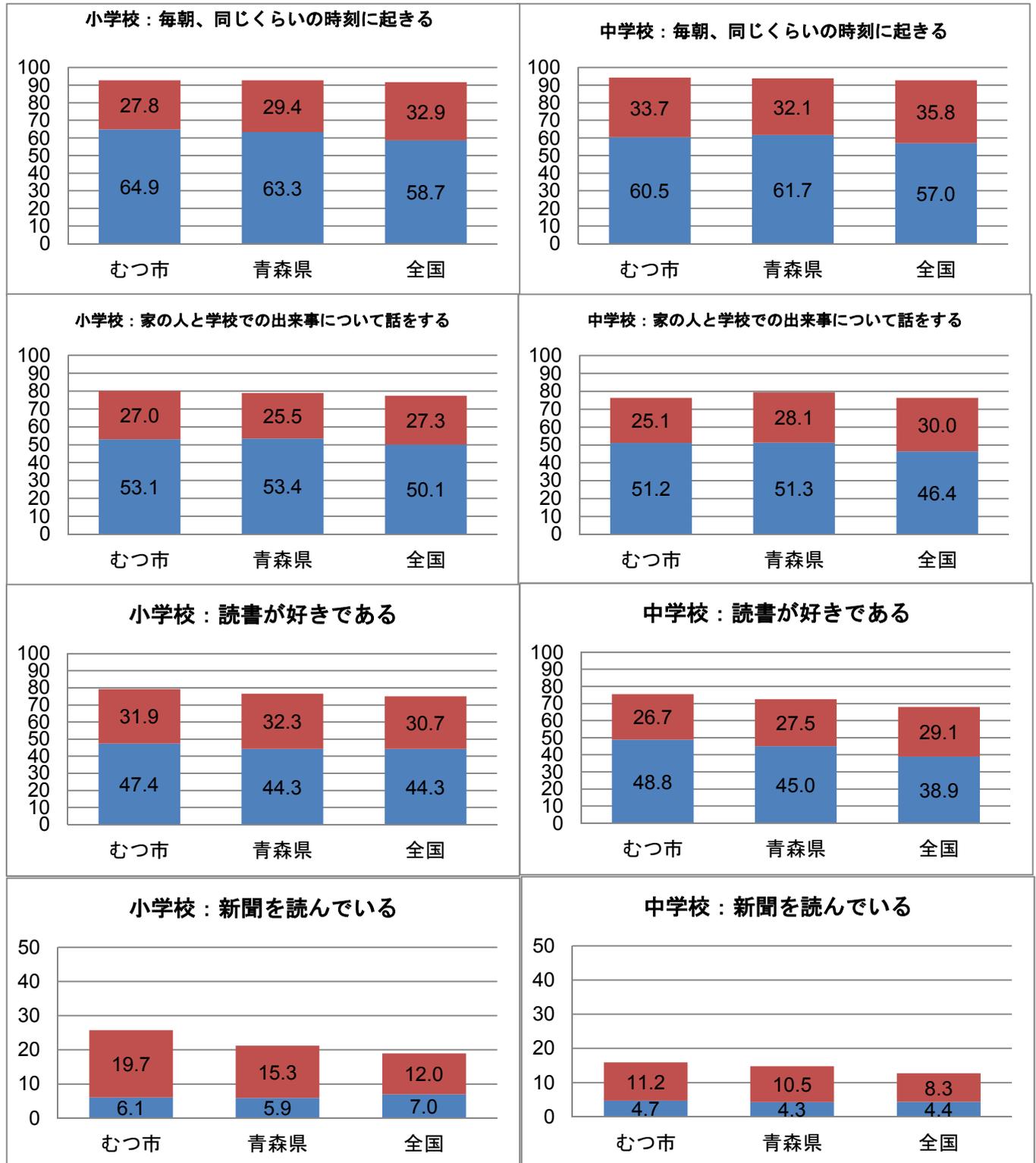
■当てはまる ■だいたい当てはまる



2) 基本的生活習慣、学習習慣等

- ・毎朝同じくらいの時刻に起き、朝食を食べるなど、規則正しいリズムで生活している。また、家の人と学校での出来事について話をしている。
- ・読書が好きである。また、新聞を読む児童生徒の割合が全国・県平均よりも高い。

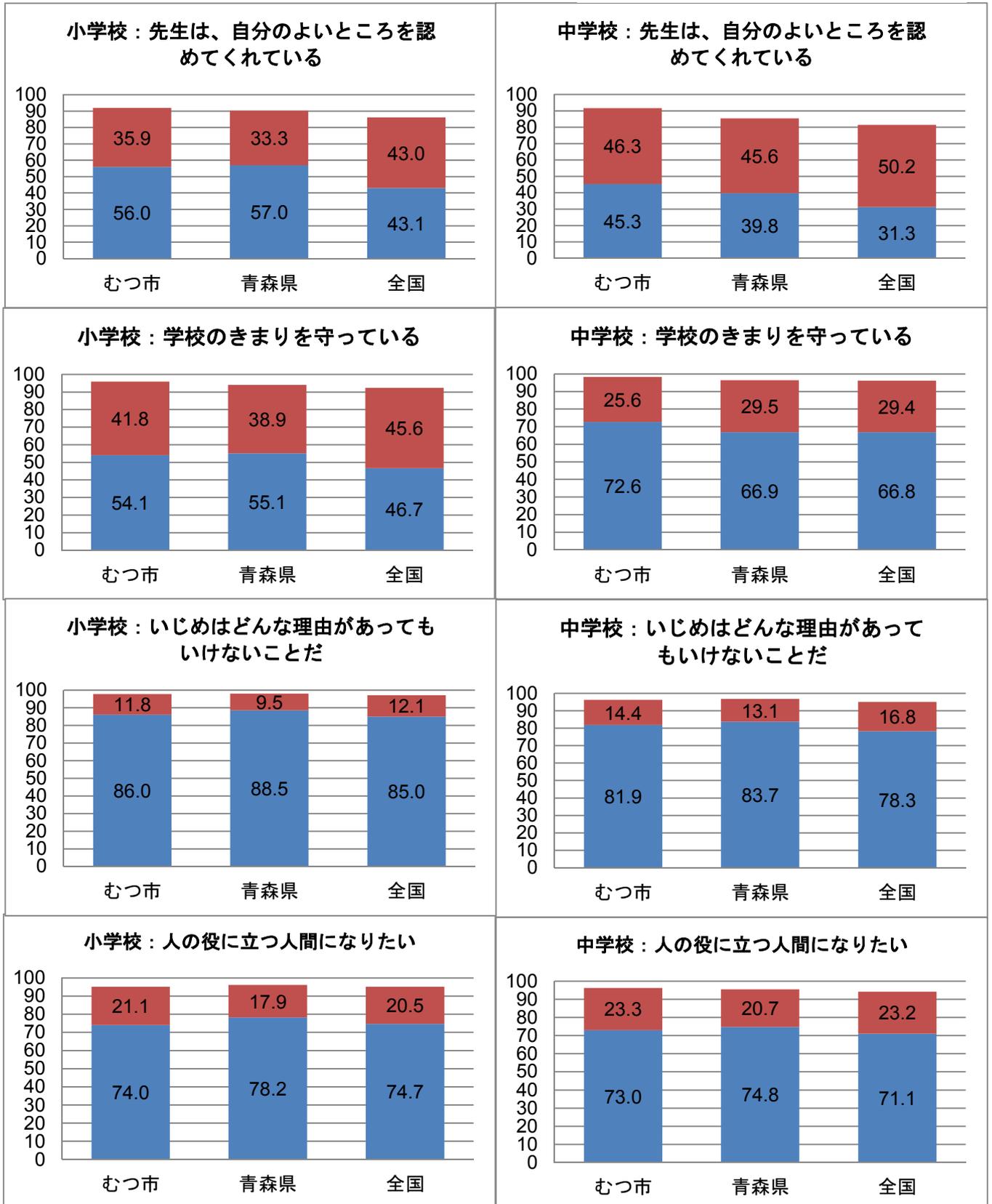
■当てはまる ■だいたい当てはまる



3) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

- ・先生は自分のよいところを認めてくれていると思っている。
- ・学校の規則を守り、いじめはどんな理由があってもいけないことだと考えている。
- ・人の役に立つ人間になりたいと考えている。

■ 当てはまる ■ だいたい当てはまる



4. 学校における指導

【小学校における指導】

- ・国語、算数の指導として、漢字・語句や計算などの反復練習や補充的な学習に加えて、発展的な学習の指導をしている。
- ・言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる。
- ・家庭学習の方法について、児童に具体例を挙げながら教えている。
- ・学級全体で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている。
- ・児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行っている。

【中学校における指導】

- ・国語、数学の指導として、漢字・語句や計算などの反復練習や補充的な学習に加えて、発展的な学習の指導をしている。
- ・英語の指導として、補充的な学習に加えて、発展的な学習の指導をしている。また、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえたり、自分の考えや気持ちを英語で書いたりする言語活動を取り入れている。
- ・プロジェクターや電子黒板などの ICT を活用した授業がよく行われている。
- ・学級全体で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている。
- ・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行っている。

5. 今後、重点的に取り組んでいくこと

- 児童・生徒の学習意欲と自信を高めながら、知識・技能等と活用する力の両面を伸ばすこと。
- 各教科等の学習で、じっくり考え、根拠を持って判断したり、自分の考えを筋道立ててわかりやすく説明する力を高めること。
- 本や新聞を読むことを一層推進していくこと。

6. 学校教育課としての指導や支援、対策

- ①各教科におけるむつ市の児童・生徒の傾向と対策について、要請訪問等で指導助言を行う。
- ②12月の「活用力育成講座」では、知識・技能等の定着と活用力の育成を図る具体的な指導法について紹介する。
- ③活用型問題集「ドリームワーク」の活用を一層推進する。